

12月  
下月号  
聖徒伝 111

# 「分からない」 から始めよう

イザヤ書28章 あざむきの契約・反キリスト

## アウトライン

I. エフライム・ユダの災い 28:1~11

II. 反キリストとの契約・メシアの裁き

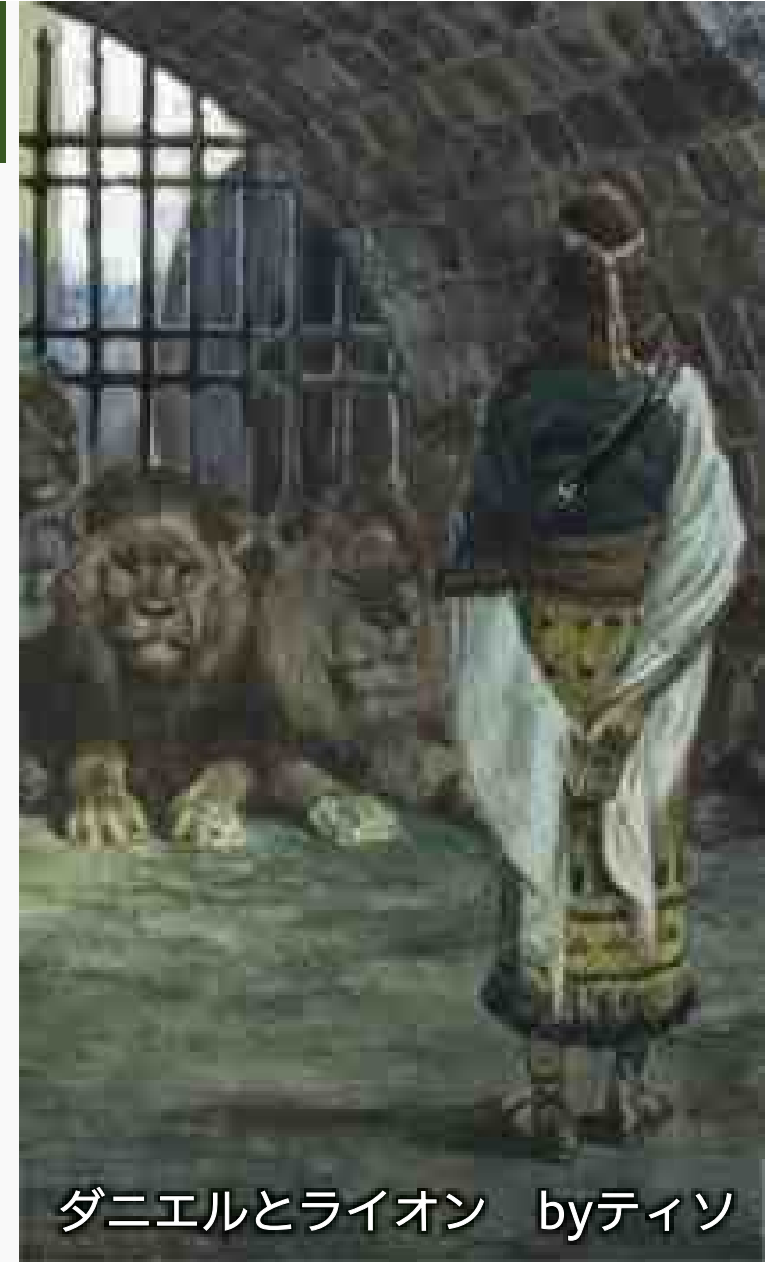
28:12~29

III. ダニエルが告げた反キリスト

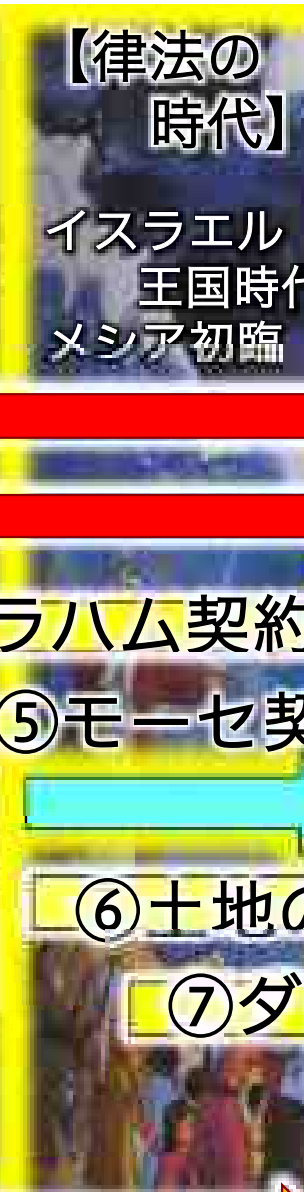
ダニエル書24:24~27

IV. まとめと適用

分からないことは神にゆだねよう



ダニエルとライオン byティソ



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

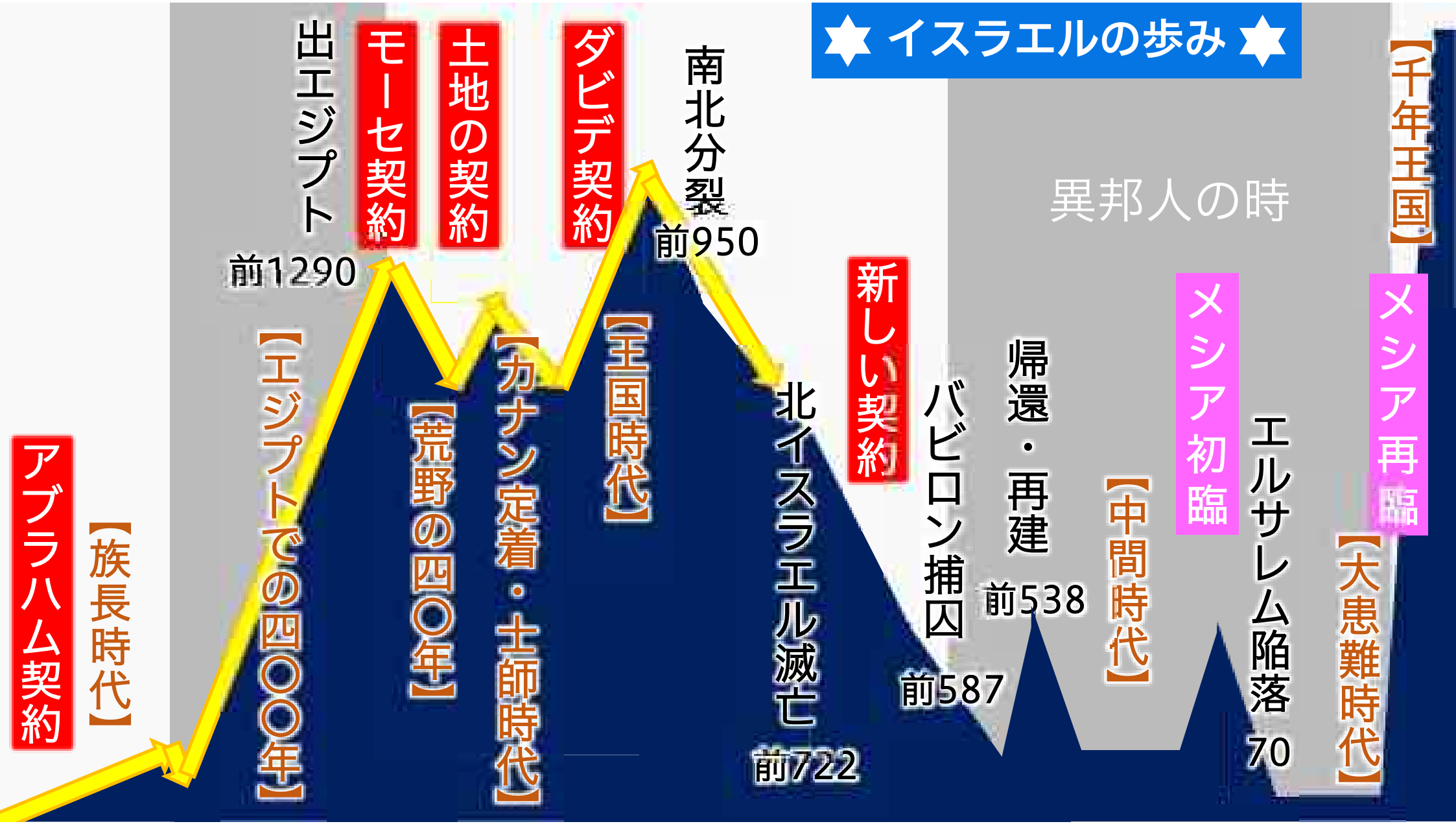
神の約束こそが  
その時代の守り

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

前722

北イスラエル滅亡

【新しい契約】

前587

バビロン捕囚

【中間時代】

前538

帰還・再建

メシア初臨

エルサレム陥落 70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

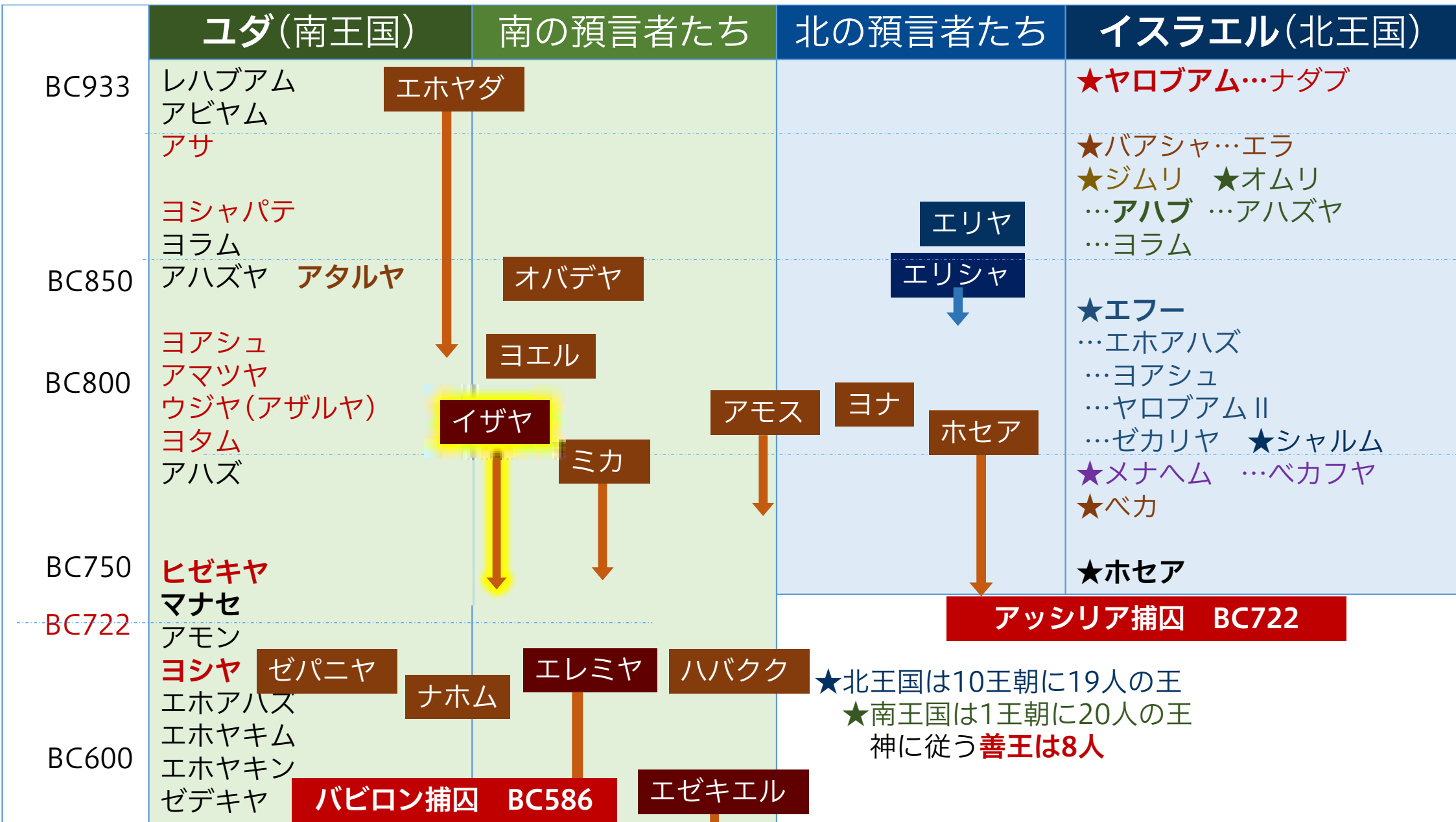
異邦人の時

## イザヤ書とは？

- **著者** …預言者イザヤ＝“ヤハウエは救い”
- **イザヤの活動** …エルサレムの都  
60年間で4人の王に仕えた。
- **時代背景** …北王国の滅亡。アッシリアの脅威。  
南王国が、エジプトと同盟を結ぶ。
- **内容** …世に頼らず神の裁きを受け入れよ。  
患難の先に神による救いがある。

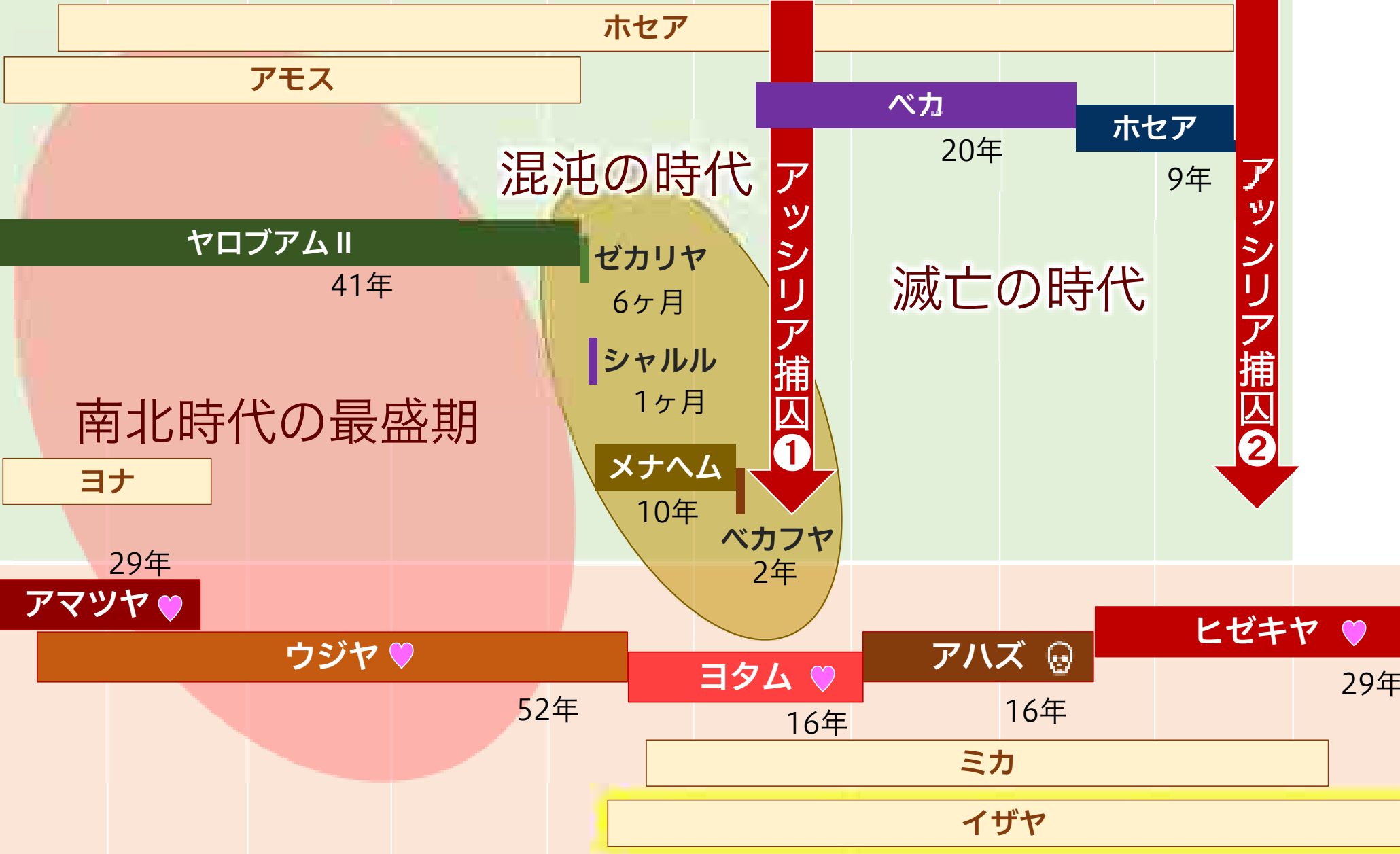
**イザヤ書は、世の終わりの時代の必読書!!**





北王国イスラエル

南王国ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】

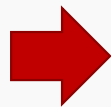




# 預言が告げる、三つの時代の出来事



南北時代

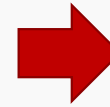


① 直近の  
苦難

メシア初臨



② 主の日  
大患難時代



③ 回復  
メシア再臨

# 天上の礼拝

主の日



主の日・大患難時代(7年間の裁き)



14万4千人による世界宣教

ユダヤ人大迫害

御国の時代

教会時代

携拳

反キリストとイスラエルの契約

封印の裁き

ラツパの裁き

反キリストが契約破棄

鉢の裁き

イスラエルの民族的回心

メシア再臨

## 大患難時代の反キリスト

■ 信者の携挙の後、異邦人から出現。➡名前の数字が666  
イスラエルと7年間の契約を締結。

➡イスラエルへの神の怒りが、7年の**大患難時代**

- ①前半(3年半) …世界の政治的指導者に。
- ②中間期 …一度死ぬが復活。自らを神とする。  
絶対的服従を要求。➡獣の刻印
- ③後半(3年半) …契約破棄。イスラエルへの大迫害。  
最終戦争(ハルマゲドン)へ

■ 再臨のメシアに裁かれ、よみに落とされる。

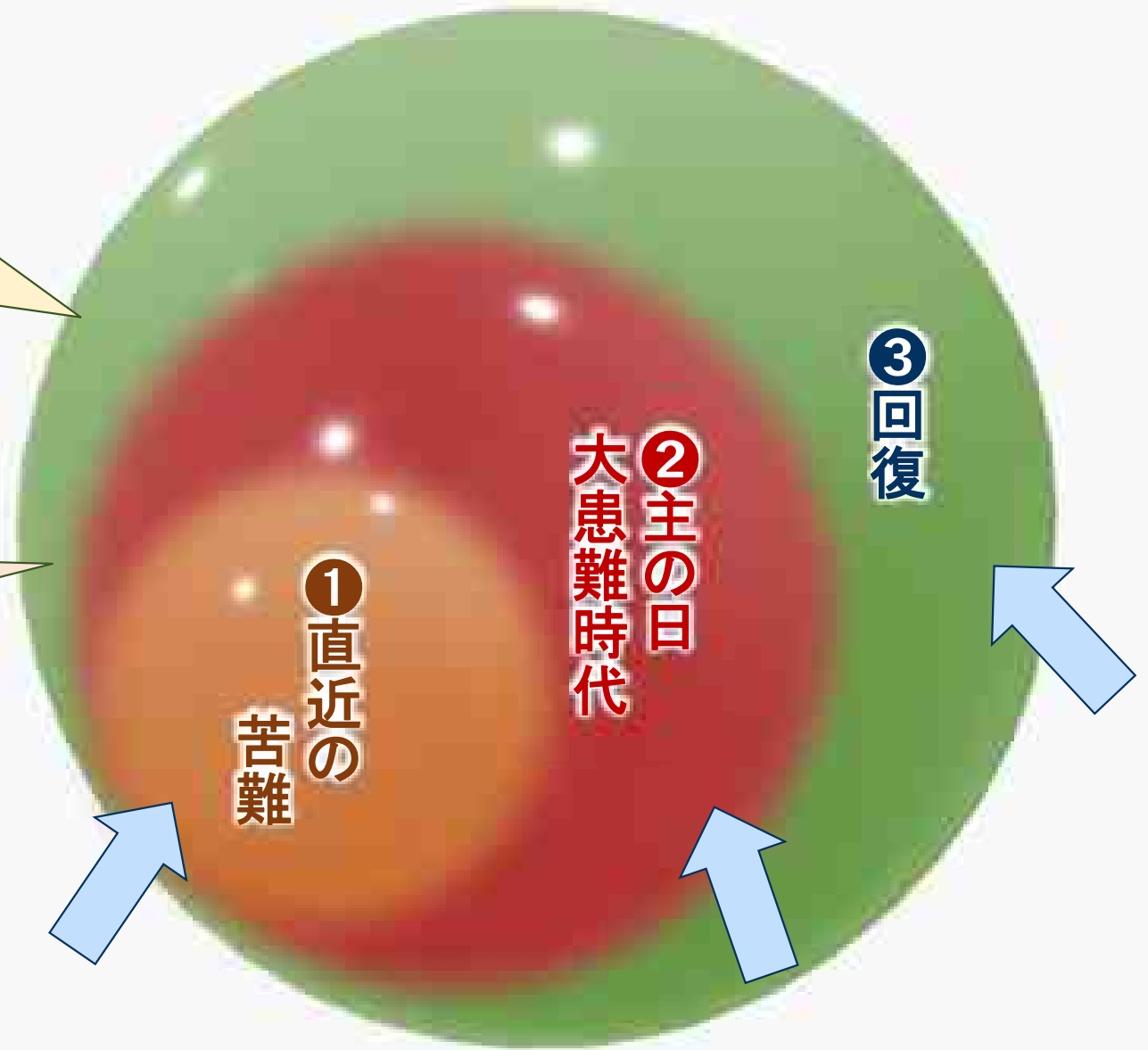


## 3Dで預言を捕らえる

シームレスな  
かたまりとして  
とらえよう

文脈で判断!!

見る角度で  
違う時代が  
浮き上がる





# Ⅰ. エフライム、ユダの災い

イザヤ書28章1～19節

パレスチナ西岸・遺跡と住宅地

## 災い 北王国の裁き イザヤ28:1

わざわざいだ。エフライム\*の酔いどれ\*が誇りとする冠、その美しい飾りの、しぼんでゆく花。これは、酔いつぶれた者たちの、肥えた谷の頂にある。

見よ、主のもとには激しく力強いもの\*がある。それは、突き刺さり荒れ狂う雹の嵐のようだ。激しい勢いで押し流す豪雨のようだ。主は御手をもってこれを地に下される。

\*12部族の長子権を継ぐ、北王国の中心部族。

\*酒宴は、偶像礼拝と密着。

\*神が裁きの器として用いるアッシリア



サマリア

## 災い 激しい略奪 イザヤ28:3~4

エフライムの酔いどれが誇りとする冠は、  
足の下に踏みにじられる。

肥えた谷の頂にあってこれを麗しく飾る花  
もしぼみ、夏前の初なりのいちじくの実\*の  
ようになる。だれかがそれを見つけると、  
すぐに手に取り、呑み込んでしまう。

\*貴重なので、すぐにとられてしまう。

➡アッシリアによる強奪の激しさ



## 主の日 イスラエルの真の王 イザヤ28:5~6

その日\*、万軍の【主】は、民の残りの者\*には輝かしい冠、栄えの飾り輪となり、さばきの座に着く者にはさばきの霊となり、攻撃して来る者を城門で追い返す者には力となられる。

\*5~6節は、主の日の出来事が挿入句のように。

\*北王国滅亡時点の南王国にも重なるが…

→イスラエルの残れる信仰者・レムナント

■主が真実にイスラエルの王となるのは、メシア再臨後の神の王国において。





## 災い 南王国の墮落 イザヤ28:7~8

しかし、これらの者\*も、ぶどう酒でよろめき、強い酒でふらつく。祭司も預言者も強い酒でよろめき、ぶどう酒で混乱し、強い酒でふらつく。幻を見ながらよろめき、さばきを下すとき、よろける。どの食卓も吐いた物であふれ、余すところもない。

\*ここでは、アッシリアの侵略を免れた**南王国**。

■北王国の遺跡から多くの偶像が発掘されている。

南王国は少ないが、北王国滅亡後に急増。

→北からの脱出者が、偶像をも持ち込んだ。



## 災い 嘲笑 イザヤ28:9~10

「**彼\***は知識をだれに教えようとするのか。知らされたことをだれに悟らせようとするのか。乳離れした子にか。乳房から離された子にか。

**彼\***は言っている。『ツァウにツァウ、ツァウにツァウ、カウにカウ、カウにカウ、あっちにゼエル、こっちにゼエル\*』と。』

\*イザヤに対する嘲笑

\*赤ん坊のしゃべりをまねた言葉?!

■イザヤの警告など聞く必要はないと、あざ笑い、奢り高ぶる人々の姿。



## 災い 異国の言葉・異言 イザヤ28:11

まことに主は、もつれた舌で、**異国のことば\***でこの民に語られる。

↑  
神の報い

■パウロによる引用後の解説(1コリ14:22)

「それで**異言\***は、**信じている者たち\***のためではなく、**信じていない者たち\***のためのしるしであり、預言は、信じていない者たちのためではなく、信じている者たちのためのしるしです」

→**異言\***は、メシアを拒んだ**イスラエル\***でなく、**異邦人\***へのしるしとして与えられた。



## ペンテコステ 聖霊降臨 使徒2章

「2:4 すると皆が**聖霊**に満たされ、御霊が語らせるままに、**他国のいろいろなことば**で話し始めた」

- 主イエスの昇天後、五旬祭にエルサレムで祈っていた弟子たちの上に**聖霊**が降った。
- 離散のユダヤ人の巡礼者たちは、世界各地の言葉(**異言**)が話されているのを聞いて驚いた。
- 酒に酔っているのだとあざける者たちもいた。  
→やがて福音は**異邦人**中心に伝えられていく。





II. 反キリストとの契約・メシアの裁き イザヤ書28:16～29

## 災い 神の民の拒絶 イザヤ28:12

主は彼らに、「ここに憩いがある。疲れた者を憩わせよ。ここに休息がある」と言われたのに、彼らは聞こうとしなかった。

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。マタイ11:28」

■ イエスは、口伝律法に縛られたイスラエルに真理による解放の道を示したが、拒まれた。

➡ 神の民の拒絶は大患難時代まで続く。



## 災い 神の嘲り イザヤ28:13

【主】は彼らに告げられる。「ツァウにツァウ、ツァウにツァウ、カウにカウ、カウにカウ、あっちにゼエル、こっちにゼエル。」これは、彼らが歩くときうしろに倒れて\*砕かれ、罨にかかって捕らえられるためである。

\*うしろに倒れる → 神の裁きで倒れる様子

■ 神の預言をあざけた報いとして、  
神にあざけられる。

→ 頑なにされ、反キリストの罨に落ちる



## 契約 反キリストの契約 イザヤ28:14~15

それゆえ、嘲る者たちよ、【主】のことばを聞け。エルサレムでこの民を治める者たちよ。

あなたがたがこう言ったからだ。「われわれは死と契約\*を結び、よみと同盟\*を結んでいる。たとえ、洪水が押し寄せても\*、それはわれわれには届かない。われわれは、まやかしを避け所とし、偽りに身を隠してきたのだから。」

\*大患難時代の反キリストとイスラエルの契約

\*神の裁き

■悪と手を結び、神の裁きを避けようとする!!

本末転倒





## メシア預言 試みを経た石 イザヤ28:16

それゆえ、【神】である主はこう言われる。

「見よ、わたしはシオンに一つの石\*を礎として据える。これは**試みを経た石\***、堅く据えられた礎の、**尊い要石\***。これに**信頼する者\***は慌てふためくことがない。」

「見よ、わたしはシオンに、**つまずきの石**、**妨げの岩**を置く。この方に信頼する者は失望させられることがない。ローマ9:33」

- メシアへの試み、つまり、十字架の受難は、イスラエルをつまずかせ、大患難を招いたが、**残れる信仰者\***には、救いをもたらす。



## メシア預言 主の公正と義 イザヤ28:17

わたしは**公正**を測り縄とし、**義**を重りとする。雹はまやかしの避け所を一掃し、水は隠れ家を押し流す。

### ■エレミヤ書33:15～16

「その日、その時、わたしはダビデのために**義の若枝**を芽生えさせる。**彼**はこの地に**公正と義**を行う。その日、ユダは救われ、エルサレムは安らかに住み、こうしてこの都は『【主】は私たちの**義**』と名づけられる」

→反キリストと契約を結び、しるしを押しされた者をメシアが裁き、都を完全にきよめられる。



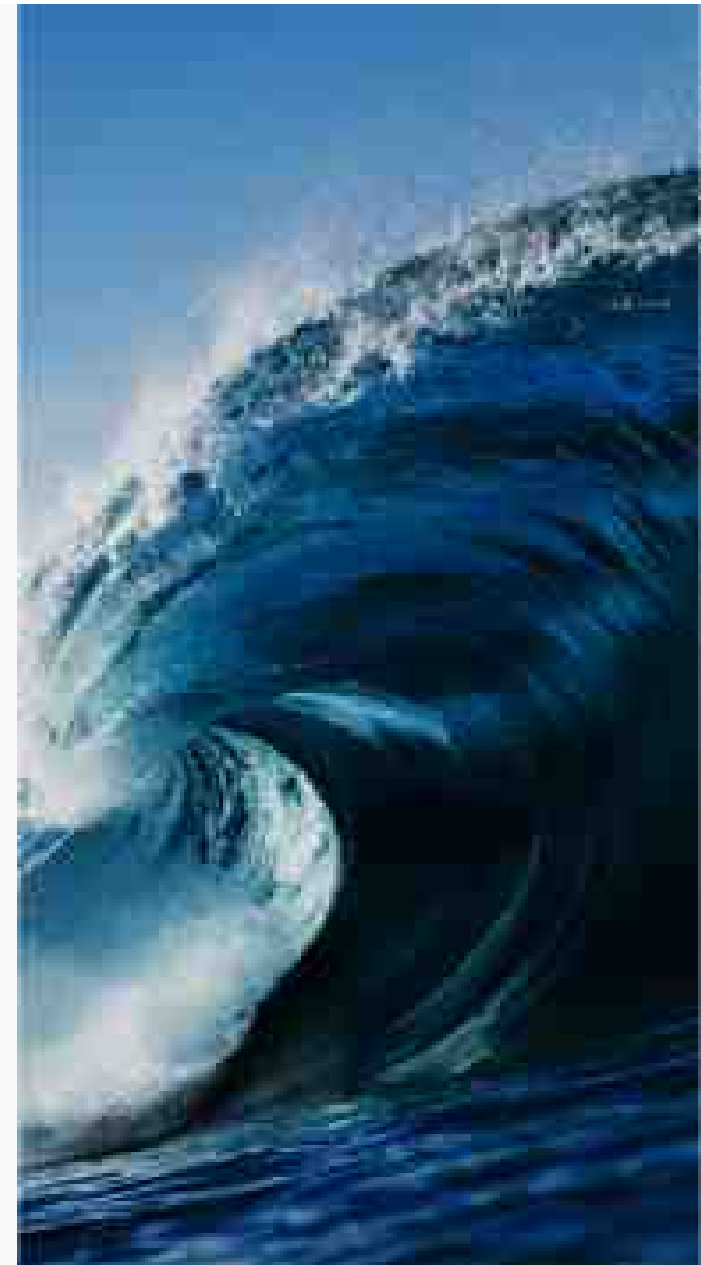
## 大患難 神の罰 イザヤ28:18~19

あなたがたの、死との契約は解消され、よみとの同盟は成り立たない。みなぎる天罰\*が押し寄せると、あなたがたはそれに踏みにじられる。

それは押し寄せるたびに、あなたがたを捕らえる。しかも朝ごとに押し寄せる。昼にも夜にも。この知らせを悟るなら、ただ恐怖あるのみ。

\*反キリストとの契約への神の罰(大患難時代)

■イスラエルと反キリストとの契約\*を機に、  
神の裁きが、大患難として下されていく!!



## 大患難 神の裁きのみわざ イザヤ28:20

「まことに、寝床は身を伸ばすには短すぎ、覆いも身をくるむには狭すぎる。」

実に、【主】は起き上がられる。ペラツィムの山\*での時のように。主は奮い立たれる。ギブオンの谷\*での時のように。みわざを行われるが、そのみわざは不可思議。働きをされるが、その働きは意外。

\*ダビデがペリシテに勝利(IIサム5:18~20)

\*ヨシュアがエモリ人に勝利(ヨシュア10:10)

■身の置き所のない神の民に裁きが下る。



## 大患難 定められた全滅 イザヤ28:22～23

だから今、あなたがたは嘲ってはならない。あなたがたを縛るかせが、きつく締まることのないように。私は万軍の【神】、主から、全世界に下る定められた全滅\*について聞いているのだ。あなたがたは、私の声に耳を傾けて聞け。私の言うことを注意して聞け。

\*大患難時代の裁きは全世界に及ぶ

…2/3～3/4以上の人々が死に至る。

最終的に、すべての不信仰者は裁かれる。



## 大患難 種蒔き イザヤ28:24

農夫は種を蒔くために、いつも耕してばかりいるだろうか。土地を起こし、ならしてばかりいるだろうか。

その地面をならしたら、ういきょう\*を蒔き、クミンの種を蒔き、小麦を畝に、大麦を定まった場所に、裸麦\*をその境に植えるではないか。

\*高さ1mになる多年生植物。香草・ハーブ。

\*揉むだけで皮が剥ける、大麦の一品種。

■農夫(メシア)が、多様な種(人)を植えられた。



ういきょう

## 大患難 各々への裁き イザヤ28:26

農夫は厳しく指導され、彼の神は彼に教える。

ういきょうは打穀機で打たれず、クミンの上では脱穀車の車輪を回さない。ういきょうは杖で、クミンは棒で打たれるのである。

- 農夫(メシア)は、神の意思を完全に一致して、収穫物によって脱穀の仕方が違うように、人を、各々の罪に応じて裁く。



クミン

## 大患難 神の選別 イザヤ28:28~29

パンのために麦は砕かれるが、打穀をいつまでも続けることはしない。脱穀車の車輪を回すことはしても、馬がこれを砕くことはない。

これも万軍の【主】のもとから出ること。その摂理は奇しく、その英知は偉大である。

「ルカ3:17 また手に箕を持って、ご自分の脱穀場を隅々まで掃ききよめ、麦を集めて倉に納められます。そして、殻を消えない火で焼き尽くされます。」

**メシアが、人々の救いと滅びを選別される!!**







### Ⅲ. ダニエル書が告げた反キリスト      ダニエル書24:24～27

オリーブ山の墓地

## 77週の預言    メシア登場まで    ダニエル9:24

あなたの民とあなたの聖なる都について、**七十週\***が定められている。それは、背きをやめさせ、罪を終わらせ、咎の宥めを行い、永遠の義をもたらし、幻と預言を確証し、至聖所に**油注ぎ\***を行うためである。

＊490年間 …バビロン捕囚の時代から換算。

- ➔バビロン捕囚からの解放
- ➔帰還・神殿再建
- ➔偶像礼拝の放棄・律法への回帰
- ➔預言された**メシア(油注がれた者\*)**の登場



エルサレム入場

## 77週の預言 7週と62週 ダニエル9:25

それゆえ、知れ。悟れ。エルサレムを復興し、再建せよとの命令\*が出てから、油注がれた者、君主が来るまでが**①七週**。そして苦しみの期間である**②六十二週**の間に、広場と堀\*が造り直される。

\*ペルシャのクロス王の勅令(BC538)？！

\*真実の神殿(メシア)を迎える準備・苦難の時

**①七週**(47年後) …ネヘミヤによる城壁再建

**②69週**(7 + 63)(483年後) …メシアが登場



ネヘミヤの城壁再建

## 77週の預言　メシアの拒絶　ダニエル9:26

その六十二週の後、油注がれた者は断たれ\*、彼には何も残らない。次に来る君主の民が、都と聖所を破壊\*する。その終わりには洪水が伴い\*、戦いの終わりまで荒廃が定められている。

\*メシアの十字架の死。イスラエルは拒絶。

\*ローマのエルサレム陥落(AD70)

\*ローマ軍の侵攻。

■エルサレム陥落までにメシアは現れる。

「次に来る君主」は、ローマの系譜を継ぐ者。



エルサレム陥落の浮彫

## 77週の預言 反キリスト ダニエル9:27

彼\*は**③一週**の間、多くの者\*と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼\*の上に、荒らす者\*が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。」

\*反キリスト \*イスラエルの多数

\*後半、イスラエルへの大迫害が。

\*神は契約の箱のケルビムの翼の上に宿られたが…。

**③ 1 週(7年) …世の終わりの7年・大患難時代**



## ダニエルの77週の預言

① ペルシャのクロス王の勅令 (BC538) ?!

① **7週** (47年後) …ネヘミヤによる城壁再建

② **69週** (7 + 63) (483年後) …**メシア登場**まで

→ メシアの受難・十字架の贖い

→ ローマによるエルサレム陥落

③ **1週** (7年) …大患難時代

→ **反キリスト**とイスラエルの契約

→ 反キリストの契約破棄・イスラエルへの大迫害

→ イスラエルの民族的回心、**メシア再臨**、裁き。



A crown of thorns, a symbol of suffering and sacrifice, is shown against a dark, starry night sky. The stars are bright and numerous, creating a sense of vastness and divine light. The crown of thorns is made of dark, sharp, and tangled branches, positioned in the lower half of the frame.

#### IV. まとめと適用

分からないことは神にゆだねよう

# 主イエスによる終末時代の心がまえ

## ■ マタイ福音書24章34～36節

まことに、あなたがたに言います。これらのことがすべて起こるまでは、この時代が過ぎ去ることは決してありません。

天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。

ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。



## 惑わされないようにしよう

- 弟子たちに、終末について教えるにあたり、「惑わされないように」と、まず主イエスは釘をさされている。
- メシアの再臨は、預言された終末のすべてが起こってからだ。
- 人となられたメシアにも、世の終わりの時は知らされてなかった。ましてや私たちには、知りようもないことだ。
- 落ち着いて、備えていることが、求められる。何が起ころうとも、起こらずとも。世の情報に振り回されるな。

## ★ 分からないことは、分からないと言おう ★

■ 苦難を前に、特に他者の苦難を前にして、私たちがとりがちなのは、苦難の意味を勝手に、早急に決めつけてしまうこと。

→ヨブの友人たち同様の過ちを犯していないだろうか？

■ 背後にあるのは、自分自身の不安や心配、恐れ。  
世の出来事に左右されるのも同じ。根っこにあるのは不信仰。

→安易に分かるという道は、一体どこにつながっているのか？

■ まだ見ぬ神の約束を、信頼して踏み出すのが、信仰だ。

「私には分からない。しかし、主よ、あなたを信頼します」と。

**私の最善を願われ、最高の計画を進められる主に信頼しよう**

てん とう  
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、<sup>そむ</sup> 罪を<sup>つみ</sup>重ねてきました。  
ひび おか つみ こくはく つみ  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、<sup>かみ</sup> 神のみ子<sup>こ</sup>イエス・キリストが、  
<sup>つみ</sup> <sup>あがな</sup> <sup>じゅうじか</sup> <sup>し</sup>

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

<sup>はか</sup> <sup>ほうむ</sup>

②墓に葬られ、

<sup>みつかめ</sup> <sup>ふっかつ</sup>

③三日目に復活したこと、<sup>しん</sup> を信じます。

<sup>しゅ</sup> <sup>かんぜん</sup> <sup>けいかく</sup> <sup>うち</sup>  
主の完全なご計画の内に、すべてのことはなされ、<sup>すす</sup> 進められています。

<sup>よ</sup> <sup>ひとびと</sup> <sup>じぶんじしん</sup> <sup>ふ</sup> <sup>まわ</sup>  
世と人々と自分自身に振り回されることなく、

ただ、<sup>しゅ</sup> <sup>しんらい</sup> <sup>ゆ</sup> <sup>へいあん</sup> <sup>あゆ</sup>  
主に信頼し、揺るがぬ平安をもって歩ませてください。

<sup>すく</sup> <sup>さいりん</sup> <sup>きぼう</sup> <sup>つ</sup> <sup>し</sup> <sup>つか</sup>  
救いのよろこびと、再臨の希望を告げ知らせるべく、遣わしてください。

<sup>しゅ</sup> <sup>な</sup> <sup>いの</sup>  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」